

# 地域医療構想に関するアンケート (2回目) の結果について



令和5年3月  
新宮保健所

地域医療構想に関するアンケート「2025年に向けた対応方針アンケート」  
集計結果（新宮保健医療圏構想区域）

実施期間：令和4年12月～令和5年1月  
対象医療機関：一般病床又は療養病床を有する医療機関 11医療機関  
回答数：11医療機関

Q1. 各医療機関が目指す今後の役割・方向性

- 【A】救急拠点型（重症患者の救急受入れ、高度・専門医療など）
- 【B】救急拠点型（年間100件以上の入院を要する救急患者受入れ）
- 【C】地域密着型（軽症患者の救急受入れ、急性期病院からの転院受入れ、在宅復帰へ向けた医療など）
- 【D】療養病床を有する医療機関
- 【E】特殊な医療機能に特化した医療機関（産科、精神科、障害者医療など）
- 【F】無床診療所

今後の 役割・方向性	医療機関名	医療機能					計
		高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	
【A】救急拠点型							0
【B】救急拠点型	1 新宮市立医療センター	5	226	50			281
【C】地域密着型	1 那智勝浦町立温泉病院		30	60	30		120
	2 新宮病院				84		84
	3 くしもと町立病院		90		24		114
	4 木下医院		19				19
【D】療養病床を保有	1 日進会病院				46	36	82
	2 串本有田病院				105		105
	3 坂野医院					19	19
【E】特殊な医療機能	1 湖岬病院					2	2
	2 いずみウイメンズクリニック		10				10
【F】無床診療所	1 玉置整形外科医院					19	19
	新宮圏域 計	5	375	110	289	76	855

Q2. 2025（令和7）年の病床機能と病床数の見込み <一般病床と療養病床のみ>

医療機能	2022年 (病床機能報告)	2025年 見込	2025年 (地域医療構想)	地域医療構想との差 (▲は不足数)
高度急性期	5	5	44	▲39
急性期	375	375	174	201
回復期	110	110	212	▲102
慢性期	289	321	154	167
分類なし・未定	57	19		19
廃止予定	19	2		
新宮圏域 計	836	830	584	246

※「新宮圏域 計」の病床数には「廃止予定」の病床数を除く。

Q 3. 圏域で不足する病床機能への転換や、病床数見直しの状況 <一般病床と療養病床のみ>

病床機能の転換等の状況		医療機関数
① 2016（平成28）年から2022（令和4）年までの間に実施済み		4
② 2023（令和5）年以降に実施予定、内容について地域医療構想調整会議で合意済		
③ 2023（令和5）年以降に実施予定、令和5年の地域医療構想調整会議に諮る予定		(1)
④ 病床再編を検討中だが、時期や内容が確定していない		2
⑤ 病床再編を行わない		4

Q 4. 病床機能の転換や病床数見直しの内容（Q 3 で①②③のいずれかを選択）

医療機関名	病床機能の転換等の内容	実施年
新宮市立医療センター	急性期50床を回復期50床に転換（地域包括ケア病棟開設）	2016年
	急性期24床を高度急性期5床に転換（HCU開設）	2022年
那智勝浦町立温泉病院	急性期15床、慢性期30床の計45床を回復期15床に転換	2018年
串本有田病院	慢性期69床を介護医療院19床に転換	2020年
くしもと町立病院	慢性期16床を介護医療院10床に転換	2022年
	慢性期4床を介護医療院4床に転換予定	【予定】2023年